

## 平成 31 年・令和元年（2019 年）の雄阿寒岳の火山活動

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

### ○噴火警報・予報の状況、2019年の発表履歴

2019 年中変更なし	噴火予報（活火山であることに留意）
-------------	-------------------

### ○2019年の活動概況

#### ・火口や噴気の状況（図 1～2）

7 月 29 日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。2018 年の観測（11 月 27 日、7 月 30 日）と比較して北西斜面の弱い地熱域の状況に変化は認められませんでした。



図 1 雄阿寒岳 周辺図と写真及び赤外熱映像の撮影方向（矢印）  
赤丸はこれまで確認されている地熱域を示します。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平 29 情複、第 958 号）。

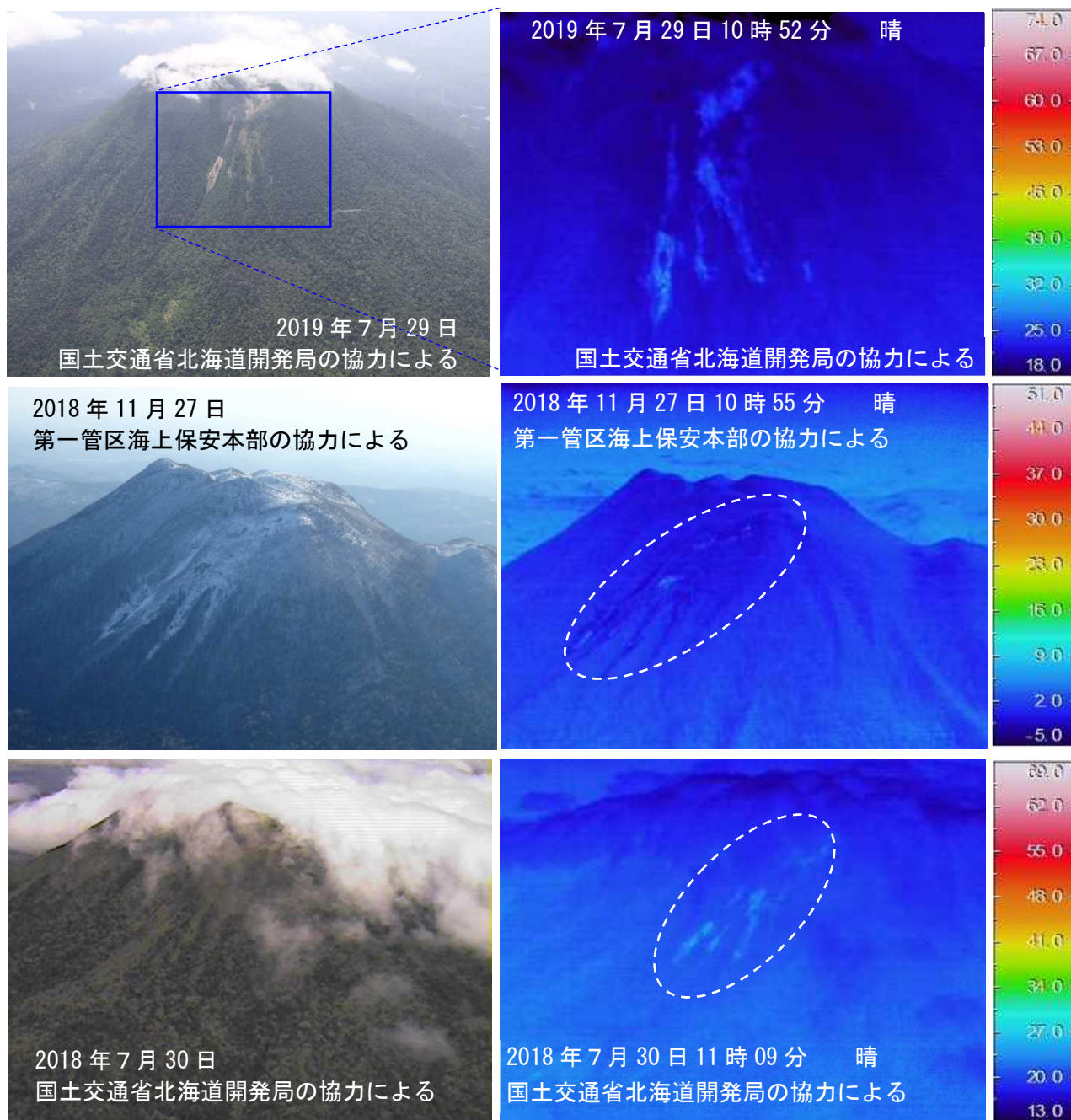


図 2 雄阿寒岳 赤外熱映像装置による北西斜面の地表面温度分布

上段：北西側上空（図 1 の①）から撮影

中・下段：北西側上空（図 1 の②）から撮影

- ・地熱域の状況（中・下段は破線で示す）に変化は認められませんでした。